

保護者各位

請求書（学費および生徒ポケットマネー）の運用変更について

皆さんはじめまして。この度、立教英國学院にバーサーとして着任しました。バーサーとは、企業でいうところの財務担当にあたる役職です。立教英國学院の財務管理システムをより使いやすく、近代化するための業務を任せています。

今、学校は iSAMS と呼ばれる新しいデータベースを導入する過程にあり、その一環として iFinance と呼ばれる新しい会計システムを今後使用することになります。このシステムを利用することにより、保護者の皆様と学校の双方に大きなメリットが生まれます。新システムは、第2学期(2023年9月)より稼働予定です。今後、学校からの財務情報の受け取り方法にいくつかの変更が生じることを、ここにご案内いたします。

ウェブサイトポータル（保護者ページ）

すべてのシステムが一度にオンラインになるわけではありませんが、新しいシステムにより、専用の Web サイトポータルを通じて、保護者の皆様がお子様の学業情報と請求書の詳細にアクセスできるようになります。

学費の請求

9月以降、学期ごとに学費の請求書を発行します。支払いは、現行通り銀行送金で手配することも可能ですし、ポータルサイトからクレジットカードで支払うこともできます。必要に応じて通年の請求書を発行することも可能です。詳細については、追ってご案内いたします。

生徒銀行口座

これまで、アウティング（遠足）、語学や音楽のプライベートレッスン、お小遣い等に係る費用については、学校で開設手続きを行った生徒個人口座への送金をお願いしており、ここに入金された金額から、各学期末に小切手による清算処理をしてきました。しかしながら、この方法は、イギリス国内で各銀行の支店がどんどん縮小され、また、小切手だけでなく現金の使用が減少していく状況のなか、ますます困難になっています。

9月の2学期開始までに、これらの生徒個人口座はすべて閉鎖し、各生徒個人の残高は、学校の当座預金口座に送金する手続きをします。（※口座閉鎖の手続きに移りますので、本日以降、生徒個人口座宛の送金はなさらないでください。）この残高は、次回お送りする請求書

に反映されることになります。どのようなシステムになるかを以下の表にて説明いたします。

生徒個人口座の残高	学校立替額	次回請求書の最終残高	メモ
£2,000	£500	£1,500	次回請求への繰越金 £1,500
£500	£500	0	次回請求への繰越金 なし
£250	£500	-£250	次回請求額 £250

学校が生徒に代わって立替払いをする追加費用は、学期ごとに請求されます。

この新しい方法により、保護者と生徒は、支払い状況をよりよく確認することができますので、今後の支払い計画にお役立ていただくことができます。このシステムの変更により、追加支払いが発生することはありませんのでご安心ください。

生徒小遣い（現金化していた分）

イギリスでは、幼い頃からしっかりととした金銭感覚を身に着けるために自分のデビットカードを持つことが習慣になりつつあります。実際、多くの生徒はすでに [Revolut](#) や [CashPassport キャッシュパスポートプラチナ | Mastercard®公式 \(cashpassport.jp\)](#) などの独自のマネーカードを持っています。

上述のとおり、イギリスでは現金の使用できる場所が減少しつつありますので、学校としては、保護者の皆様にお子様用のカードをご用意いただく方向で検討をしております。Mastercard、VISAcard 等で既にお持ちのものがありましたら、そちらをご利用ください。

	入金目安額
小学部	£150
中学部	£200
高等部	£250

このカードは、これまで現金化していた小遣い専用で、その他の追加料金は別途請求されます。

新しい請求システムについては、再度詳細をご案内いたしますが、それまでにご不明な点がございます場合は、私 (johnbuckles@rikkyo.uk) までお問い合わせください。日英語のサポートが必要な場合は、事務局・松尾桃子 (momokomatsu@rikkyo.uk) までお問い合わせください。